

東京梅檀会役員会・学年幹事会議事録（H22年3月7日作成）

開催日時：平成22年3月6日（土）10：45～16：00

場所：品川区荏原第三地域センター

出席者：鈴木<秀>（高12回）、佐藤<三>（高9回）、市川（高14回）、加藤（高26回）、
富澤（高13回）、大元（高14回）、中澤（高18回）、木幡<實>（高12回）、
谷津田（高19回）、根本（高20回）、管浪（高20回）、三浦（高5回）、岡田（高7回）、
高橋（高7回）、松倉（高7回）、木幡<精>（高8回）、柄本（高8回）、
松本<仁>（高10回）、鈴木<昌>（高12回）、松本<孝>（高12回）、
木幡<忠>（高12回）、渡部（高20回）

書記：大井（高18回） 計23名

議題：1、役員人事について 2、新年総会反省会 3、その他

1. 役員人事について

役員の任期満了に伴い、新役員の選定を新年総会（1/23）においてすべきであったが、役員の人選が決まらぬ由を総会において会長が説明をした。新役員の人選は、会長が新規約に基づき3月までに決定することを総会において一任された。この総会での一任を受けて、会長は役員会を召集し人選にあたり、新役員の候補者を現役員会で審議し、候補者名を学年幹事会に提出し学年幹事会で了承された。新役員は、次の通りである。

- ・会長：鈴木秀夫（高12回）
- ・副会長：佐藤三千雄（高9回） 佐藤和征（高10回） 市川宏（高14回）
蘭香代子（高20回） 加藤淳子（高26回）
- ・監事：富澤誠（高13回） 大元泰弘（高14回）
- ・幹事長：大井和彦（高18回）
- ・会計幹事：中澤嘉樹（高18回）
- ・副幹事長：佐藤宏秀（高12回） 木幡實（高12回） 谷津田保雄（高19回）
根本道夫（高20回） 管浪幸孝（高20回）
- ・会計副幹事：辻ノリ子（高19回） 神田幸子（高20回） 藤谷至（高44回）

2. 新年総会反省会

- ・新年総会の1月開催の是非、代案は学年度合わせての4月案、暖かい7月案等。
23年の新年会は、とりあえず例年通り1月とするが、役員会・幹事会で継続審議をする。場所は霞が関ビル内東海大学校友会館。
- ・式次第にある項目以外の紹介・要望等を受けるべきかどうか。
時間の制約を考慮すると、式次第に則り会を進めざるを得ない。
- ・出席者を増やす手立てはないのか。
学年幹事の役割に期待し、もっと積極的に同級生に働きかける。
還暦の会を引き続き実施し、定年を機会に同窓会活動に目を向けてもらう。
- ・新年総会出席者の氏名をホームページに掲載してはどうか。
情報保護法の問題もあり、個人名の掲載は控えるべきだが、各学年の出席者数の掲載は励みとなるかもしれない。
- ・先輩諸氏の同窓会に対する貢献を考慮し、古希の会も実施してはどうか。
新年会実行委員会で検討する。
- ・寄付・祝賀品提供者に、会場で発表しお礼を述べているほかに礼状を出してほしい。
新年会実行委員会に担当者を置き対応する。

3. その他

- ・会員に山梨県、静岡県在住の同窓生も加える。
- ・旧職員にも新年会の案内状を送付する。
- ・広報委員会（双高東京同窓会新聞の発行）に、各学年から通信員（仮称）にあたる委員を出してほしい。

◎会議終了後懇親会となり、一人一人が自己紹介をして、老いも（？）若きも年齢・性別を越えて和やかにささやかな宴会を楽しみました。最後になりますが、「東京梅檀会」のホームページを一日一回開きましょう。